



# もりや仙一郎便り

県政報告  
Vol.61

## 果樹関連予算 8割増

### 県政に訴え 足腰の強い生産基盤強化へ

#### 果樹の生産基盤強化について

▼森谷

TPP協定大筋合意を受け、県内の農業者は価格の安い農産物が流通することによって「経営が大変になる」と危惧している。そのなかで、昨年に県が実施した農林水産分野への影響分析において、特産サクランボは輸入品と比べて品質、価格の面で



▼農林水産部長

山形県は平成26年の果樹産出額が全国第2位の64.2億円と、過去最高を達成しており、米とほぼ並ぶ基幹品目へ成長している。一方で、生産面

では経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。

①老木に代えて伸びしろが見込める収益性の高い品目・品種への改種、②新品種・技術の開発、③現場移転、④わい化・Y字・V字・棚仕立てなど

向上を図る対応として、①老木に代えて伸びしろが見込める収益性の高い品目・品種への改種、②新品種・技術の開発、③現場移転、④わい化・Y字・V字・棚仕立てなど

は経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。

は経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。

は経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。

#### 県議会2月定例会 予算特別委員会

#### サッカースタジアム建設 県の考えは

▼森谷

モンテディオ山形の新社長に森谷氏が就任してから「J1復帰と新スタジアム推進を両輪で進める」との言葉が多く出ています。今年2月には新スタジアム推進室を社内立ち上げ、様々な意見を

谷社長は「スタジアム建設は公設民営で行うことが現実的という方向性があるが、具体的にどのよう構成するのか、旗振り役をどうするのかを含めて議論を深めたい」と具体的なイメージを

「J1に定着し、そして新たに整備されたサッカースタジアムで華々しく戦うこと、県民の大きな夢である」と申し上げてきたが、その夢を実現させるには何より県民の理解と支えが必要。

▼県土整備部長

モンテディオ山形が「J1に定着し、そして新たに整備されたサッカースタジアムで華々しく戦うこと、県民の大きな夢である」と申し上げてきたが、その夢を実現させるには何より県民の理解と支えが必要。

は経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。

は経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。

は経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。

は経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。

は経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。

#### 山形県議会2月定例会 予算特別委員会 質問項目

- 果樹の生産振興について
  - 果樹の生産基盤強化について
  - サクランボの労働力確保について
- 山形と宮城を結ぶ横軸道路の整備について
  - 宮城県仙台市と結ぶ横軸道路の重要性について
  - 整備促進に向けての県の対応について
- 人口減少社会における住宅供給公社の担う役割について
- サッカースタジアム建設の考え方について

#### 人口減少社会における住宅供給公社の役割

▼森谷  
農村集落部では高齢者が大半を占め、健全なコミュニティが形成できない状態にある。この状況を打破する手段に「集落への宅地開発」が必要だ。天童市では市立山口小学校に隣接した土地に平成22年から25区画の宅地分譲を行ったところ、若い世代の方に完売できた。現在は第2期の工事が進行中だ。地域住民に話を聞くことや、若い

方々の移住を喜んでい。今後の農村集落への移住を進めるため、平成34年に廃止が決まっている山形県住宅供給公社を活動し、低価格・小規模な宅地開発を公社が担っていく形が望ましいと考えている。今後の人口減少社会における同公社の担う役割はどうか。

▼県土整備部長  
山形県住宅供給公社は、県民向けに低廉で良質な住宅と宅地を供給することを目的に昭和40年に設立された。これまで県内98団地・分譲住宅5430戸、宅地1361区画を供給している。

は経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。

は経営規模が小さく、農地の増加、異常気象など産地の生産基盤の脆弱化が進行している。加えて生産資材費の高騰、労働力不足など農家の生産意欲の減退が危惧される。果樹王国山形を守るためにも今後の生産性向上、品質強化策が必要で、どのように生産基盤を強化し、足腰の強い果樹産地を形成していくのか。



25区画の分譲が完売した「なでしこの里」で第二期造成の工事が進行=天童市山口

## もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3丁目 4-17

もりや仙一郎

検索

ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。



QRコードでアクセス



#### 果樹関連予算 8億8千万円

16年度の果樹関連予算 いく方針です。

#### 16年度役職

今年度、私は議会運営委員会の委員長を拝命しました。議会の円滑な運営・進行に努めてまいります。所属委員会は建設常任委員会です。